

KARUIZAWA ROTARY CLUB



2023-2024 年 RI テーマ

例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト

事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI 会長 ゴードン R.マッキナリー RI2600 地区ガバナー 折井正明

東信第一グループガバナー補佐 羽毛田匡

会長 小野克永 幹事 佐藤学 クラブ会報委員長 中沢雅子

E-mail k-rotary@jfbn.net ホームページ www.karuizawarotaryclub.com



第2656例会 2024. 3. 4

12:30 点鐘 会長 小野克永君 司会進行 副幹事 佐藤敏明君

国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 干川慎一郎君

ゲスト 川口拓様、チョンチエン様



《会長あいさつ》 会長 小野克永君

「ロータリーにおける社会奉仕の意義」

シェルドンは、それまで長い間閉ざされていた雨戸をあけて日の光を差し入れ、ビジネスの世界に金銭的考慮を越えた信念と有用な目的意識の新時代を導き入れることに成功し、それから1920年代の初めまでは、シェルドンの職業向上サービスの哲学がロータリーの主流でした。

その証拠の一つとして、1916年あるいは1917年のロータリー大会で、ポール・ハリスは次のような発言をしています。「換言すれば、私はロータリーの基本目的はビジネスにあると考える。公民としての、あるいは慈善的活動も決して阻止すべきではない。しかし第二義的考慮を払わなければならない。——それは重要性を認めないからではなく、これらの必要を満たすための特別の組織が別にあるからである」。つまり、ポール・ハリスは1916年あるいは1917年の段階では、ロータリーの主目的は職業向上奉仕であり、社会福祉奉仕は他の慈善団体に任せていいと考えていたことが伺われます。

ところが、1920年代の始めに、職業向上サービス派と社会福祉サービス派との間で思想上の激しい争いが起きました。これがロータリーの歴史上2度目の大きな改革です。このことについて、ポール・ハリスは次のように書いています。「年月が経つにつれて徐々に台頭してきたものは、ロータリー内部における思想の対立であった。ロータリーの中で最も重要であり、また最も優秀な機能の一つと考えられた職業向上サービスの支持者は、社会福祉サービスが比較的小さな都市の多くのクラブの関心を簡単に独占したと言う事実を、ある種の羨望を以って眺めるようになった。

ところが、1920年代の始めに、職業向上サービス派と社会福祉サービス派との間で思想上の激しい争いが起きました。これがロータリーの歴史上2度目の大きな改革です。このことについて、ポール・ハリスは次のように書いています。「年月が経つにつれて徐々に台頭してきたものは、ロータリー内部における思想の対立であった。ロータリーの中で最も重要であり、また最も優秀な機能の一つと考えられた職業向上サービスの支持者は、社会福祉サービスが比較的小さな都市の多くのクラブの関心を簡単に独占したと言う事実を、ある種の羨望を以って眺めるようになった。



ロータリーの最も有力な指導者で、シェルドンの職業向上奉仕運動に深く傾倒している人々は次のように主張した。すなわち、「ロータリーは実業職業人の組織する団体だから、実業および職業上の問題のみに力を注ぐべきである。クラブ会員を一業一会員と限定する制度は職業向上サービスに関してこそ意義があるけれども、社会福祉サービスに関しては何の意義もない。つまり、後者は広くこれに関心を持っている人たちに任せれば十分である」。この思想を持つ人々を、仮に、職業奉仕至上主義派あるいはシェルドン派と呼ぶことにしましょう。「一方、比較的小さな都市においては、社会福祉サービスは各方面から要求された。それには特に深い理由はないのであって、理論あるいは研究よりも直ちに実行を必要としたからであった。少数の人を使用するに過ぎない零細事業家にとっては、雇用者対、被雇用者の問題には切実味がなかったのである。

当時、盛んであった身体障害児救済運動に熱中する人々は、理論は第二の問題で、サービスの実行を第一とするところから、ロータリーが言論だけの機関に留まろうとするようなことは責任回避に他ならないと主張しました。

***次回に続く**

《幹事報告》 幹事 佐藤学君

★理事会報告①3月のプログラム承認

②お花見夜間例会について 4月15日開催（案内配布）

③グアム学生派遣、ロータリアングアム訪問について
グアム来軽について 6月7日～学生

6月14日～18日 ロータリアン

④その他 I・佐久コスモスRC合同夜間例会について
5月15日開催

II・森永哲郎会員退会 承認 III・ドッグツーリズム名義後援承認

IV・60周年記念例会について 6月24日（月）開催決定

V・次年度歩行ケア実施に伴う青少年育成基金申請 承認

VI・佐田山氏演奏会名義後援承認

★ガバナー折井正明様、地区RLI委員長佐藤友則様より

2023-2024年度 RLI卒業コースのご案内 3月30日（土）於；えんぱーく

★次年度東信第一グループガバナー補佐夏川周介様より

東信第一グループにおける「夢の実現プロジェクト」に関して

各クラブ青少年育成基金から50,000円の助成金をお願いします。

★通信物=①ガバナー折井正明様、米山奨学委員長町田清様より米山奨学生世話クラブ承諾のお礼状

②プリンスホテル「小山正彦様感謝の集い」ご案内

4月9日（火）於；プリンスホテル ウエスト

③ガバナー月信3月号配信のお知らせ ④ロータリーの友3月号

⑤RI日本事務局在団室ニュース3月号

★委嘱状 地区2024-2025年度会員増強委員会委員の委嘱状

小野会長より 干川慎一郎会員へ

3月のプログラム

3 / 4 例会卓話 川口拓氏

1 1 例会 会員卓話

1 8 定款により休会

2 5 グアム派遣学生帰国報告会

4 / 1 例会 会員卓話 遠藤孝会員



《ロータリー情報広報広聴雑誌委員会より》 委員長 福井英子君

ロータリーの友3月号右20頁、「ひな祭りあれこれ」という記事をご紹介します。ハマグリのお吸い物を食べるといふひな祭りの、なぜか定番になっていると思えますが、あれにはきちんと理由があって、元々ハマグリと言うのは対になっているので他の貝とは絶対合わないから必ず一人の人と一生伴侶として添い遂げる、仲良く添い遂げるようにと言う思いから、ハマグリのお吸い物をひな祭りに食べるという風潮があったという事です。もう一つ右13頁に「食べないお米」と言うご紹介があります。今お米は色々復活してますけれど、糠床ですとか米の油ですとか食べないお米でもいろいろな使い道があるという事です。私も小さい頃に障子の張替えで年に一度お米を使って糊を作って、それを母と一緒に刷毛で貼ったという思い出があります。非常に懐かしく思い出しまして、ご紹介をいたします。

年中行事のご紹介でしたが、ちなみに私の昨夜の夕食はハマグリではなくアサリの酒蒸しと日本酒、という事でやっぱり飲めるお米が最高だという結論に至りました。

《米山奨学金授与》 小野会長よりチョンチイェン様へ3月分授与



《親睦委員会》

委員長 秋山貴史君

★3月お誕生祝＝

小林俊二君
川本由紀恵君
大工原巧君



《出席委員会》委員長 小崎陽一郎君

★皆勤賞＝佐藤学君（3年）



	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
3月4日	36	23	1	24	63.89%	66.67%

出席免除 1

ニコニコBOX報告

秋山恭弘君



3月4日
¥25,000



★お誕生祝…大工原巧君、小林俊二君

★卓話者を歓迎して…袖山卓也君、干川慎一郎君、中沢雅子君
西川眞司君、福井英子君、秋山貴史君、佐藤学君、遠藤孝君

佐藤敏明君、佐藤一郎君、今井亮君、秋山恭弘君、佐藤好雄君、小野克永君、尾沼好博君、丸山哲君
金山城太郎君、小崎陽一郎君、

★ようこそ！たくさん！！…森和成君

《卓話者ご紹介》プログラム委員長 上田直人君

川口 拓 様 WILD AND NATIVE 主催



《 卓 話 》 川口 拓 様



— サバイバルの法則 —



《四つのテスト斉唱》
《点鐘》

